

【実践報告⑤】

生徒の自ら学ぶ力を育成するための成功体験の生かし方 及び振り返りの在り方について

愛知県立松平高等学校

1 はじめに

松平高校は、開校から75周年を超える伝統校であり、松平氏発祥の地である豊田市南部の自然豊かな山あい立地している。各学年普通科3クラス、ライフコーディネーター科1クラスの小規模校であり、約4割の生徒が4年制大学や短期大学、専門学校に進学し、約6割の生徒がトヨタ自動車をはじめとする企業に就職する。他の学校に比べ、早く社会に出る生徒が多いため、「社会で光る『人間力』」が備わる学校を教育目標にしている。



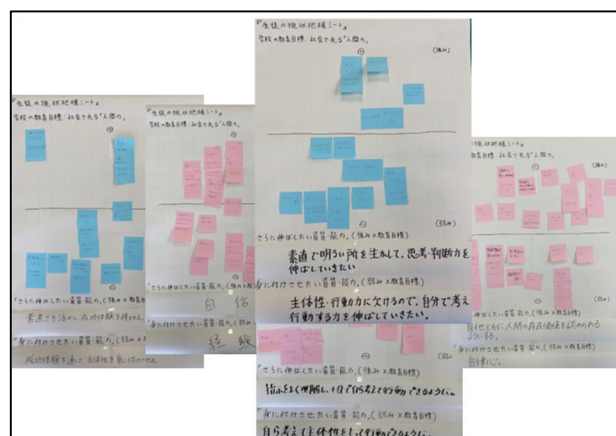
本校松平わ太鼓部の活動の様子

2 実践

(1) 研究構想図の作成・周知と本校研究主題と実践内容の共有

ア 「目指す生徒像」共有までの流れ

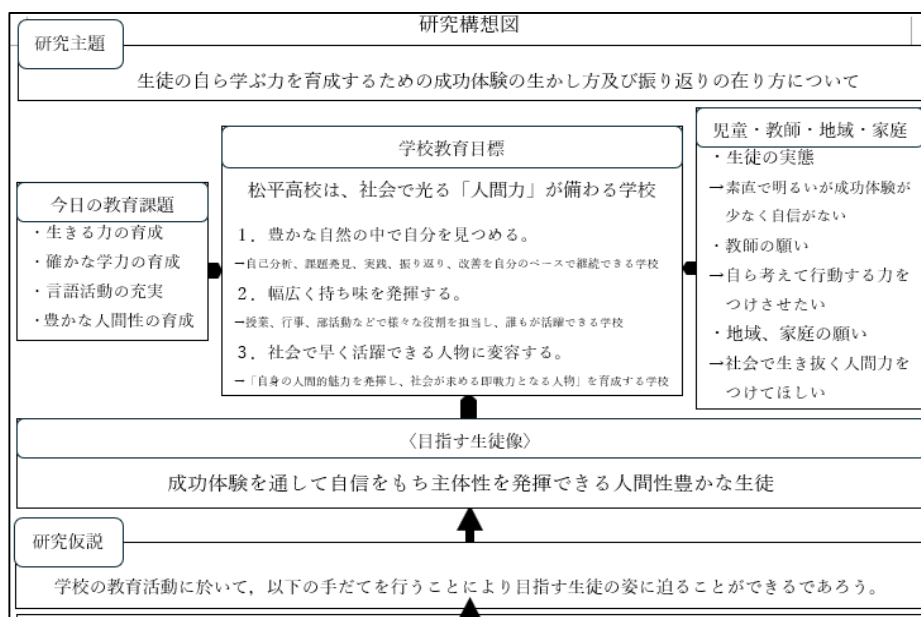
校内で「目指す生徒像」を設定及び共有するために、現職研修を開催した。本校教員を幾つかのグループに分け、本校生徒の強み弱みを整理するためにSWOT分析を行った（資料1）。



強みとして、多くの生徒が素直で明るく、教員から指導されたことはできる一方、弱みとして、自信や主体性が高まらず、自ら学ぶための行動ができていない生徒がいることが挙げられた。そこで、本校では「生徒の自ら学ぶ力」を育成するために全教員の願いを込めて「成功体験を通して自信をもち主体性を発揮できる人間性豊かな生徒」を「目指す生徒像」とした（資料2）。

イ AARサイクルと本校独自の振り返りシート作成までの流れ

【資料2 研究構想図の上部】



「目指す生徒像」が共有されたことにより、教員の生徒に対する見方に変化が見られ、生徒が成長したとを感じるタイミングで生徒の自信を高める声かけをする教員が増えた。

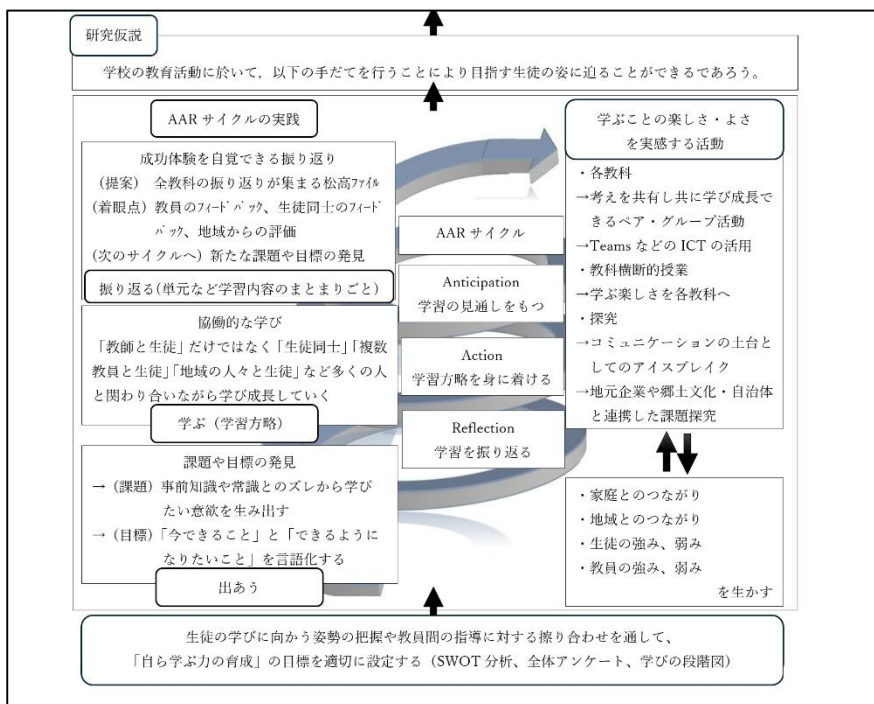
一方、この声かけ以外にも生徒の自信を高める効果的な手だてを講じる余地があると考えた。そこで、再び現職研修を行い、AARサイクルの意義について教員間で共有した。その中で「生徒の自ら学ぶ力」を育成するためには、生徒自身が自分の成長に気付くことから始めることが大切だという結論に至った

(資料3)。それを受け、本校ではAARサイクルの中でも「振り返り」に重点を置くことが決まり、研究主題を「生徒の自ら学ぶ力を育成するための成功体験の生かし方及び振り返りの在り方について」とした(資料2)。そして、本校ではAARサイクルを意識してどの教科でも使える汎用的な振り返りシートを作成した。AARサイクルの最初のAである「見通し」をもち、単元終了時に振り返りシートを用いて振り返りを行った。生徒は単元の目標が達成できたかを選択肢から選び、なぜそのように思ったのかを振り返る。そして、その振り返りから自分自身の目標を考え、これでAARサイクルが1回転すると思った(資料4)。

ウ AARサイクルと日々の教育活動の価値付け

AARサイクルを意識した振り返りの実践を計画する際に、本校で既に行っている教育活動を改めて見直した。すると、本校では振り返りとして行っている教育活動が多数あり、それらにAARサイクルの視点を加えることが可能だということに気付いた。そこ

【資料3 研究構想図の下部】



【資料4 AARサイクルを意識した振り返りシート】

振り返りシート

教科名 ()
単元 ()
日時 (月 日 曜日)
担当教員 () 先生
単元の目標 ()

1. 単元の目標は達成できましたか。 ○ できた
(できた・どちらかといえばできた・もの足りなかった・改善すべき点が多くあった)

2. なぜ単元の目標に対して○をつけたように思ったか書いてみよう。 最低3行以上

3. 「こうしたからよかった」または「こうすればよかった」と思ったことをよく考えて書いてみよう。 最低3行以上

4. 「次はこうしてみよう」と思うことと『そのために次の授業から実践したいこと』を具体的に書こう。

→(次の授業から) したい。

() 年 () 組 () 番 名前 ()

で、本校では「日々の教育活動で、既に行っていることがAARサイクルを行う手だてになるのではないか」ということを踏まえ、実践に移す計画を始めた。具体的には、日々の家庭学習時間などを記載する生活記録（資料5）、日直が生徒所見を記入するHR日誌（資料6）、学校誌に掲載するために生徒が書く、行事についての作文、単元や授業ごとに学習した内容を振り返る振り返りシート（資料4）にAARサイクルの視点を加えることにより、自ら学ぶ力を育成する手だてにすることができると考えた。

【資料5 生活記録】



バケツトライの様子

【資料6 HR日誌】



体育祭のポンポンの様子



体育祭の応援の様子

(2) 手だてによる実践

ア 生活記録による実践

体育祭までの半月の生活記録を例示する。生徒①の体育祭に向けての目標は、「松高1のバケツプレイヤーになる」であった。本校ではバケツトライというビーチフラッグに似た競技がある。

- ・ 6月1日（土）の初回の記録は、「打率 10 割打点 1 盗塁。すばらしい」と目標と全く関係のないことを書いていた。そこで、「目標に対して振り返りを書こう」と朱書きをした。
- ・ 6月3日（月）の記録は、「恋ダンスかんぺきじゃい」とまた目標の競技とは異なる、応援で行うダンスのことについて書いていた。そこで、AARサイクルの最初のAである「見通し」に当たる目標を改めて考えることで、二つ目のAである「方略」を日々の生活で実践するように指導した。その結果として、「バケツのそうじがんばりました」と家でバケツトライの練習をするためにバケツの掃除をするという行動を促すことができた。
- ・ 6月5日（水）の記録は「バケツ君と仲良くなってきた気がします」と練習の成果を記述することができた。

・6月6日（木）の体育祭当日の記録では「バケツ君と心の距離が縮まりました」と書いていた。この生徒は目標通り全校で1位となり「松高1のバケツプレイヤーになる」という目標を達成することができた。

生徒①のように、振り返りを行うことで「見通し」を意識した行動ができ、その成功体験から自信を得ることができる生徒を増やしたい。

イ HR日誌による実践

体育祭前日のHR日誌の記録を例示する。生徒②のその日の目標は、「(リハーサルの) 13 分間の練習をスムーズに進める」であった。振り返りでは、「今日は朝からビニールテープのポンポンを作るのに必死で漢字のテストがおそろかになってしまいました。ですが、13 分間の練習では、全員がポンポンを持ち、本番に近い感じで練習ができてよかったです」と振り返っていた。

朝のST後にその日の目標を立てることで、その日にやらなければならないことについて、生徒なりの「見通し」をもつことができた。その生徒にとってはリハーサルを満足して行うことにつながったと考えられる。

ウ 行事についての作文による実践

行事が終わった後に作文を書くことは多くの学校で行っていると考えられるが、そこに目標と振り返りを書くよう指導することでAARサイクルの視点を加えることができると考えた。先ほど例示した生活記録と同じ目標について、作文で振り返った記録を例示する。生徒③の目標は「ダンスを完璧にする」であった。その振り返りでは「(ダンスについて) 今回、1、2年生に教える大変さを知ったことで、あらかじめしっかりと計画を立てて共有することが大切だと分かったので、これから人に伝えるときにはこの経験を生かしていきたいです。二人三脚では(以下略)」と記述している。「1、2年生に教える大変さを知った」と振り返り、「あらかじめしっかりと計画を立てて共有することが大切」だと「方略」を考え、「これから人に伝えるときにはこの経験を生かしていきたい」と実践性についても考えることができた。このことから、生徒③は質の高い振り返りを行うことができたと考えられる。次年度の研究に向けての課題として「振り返りの質」に注目していきたいと考えている。また、生徒④は、「結果的に賞は取れませんでした」と振り返りをし、「自分が教えた人が(ダンスを) 覚えてしっかりと踊れたので個人的には満足できた」と「方略」以前のプロセスの記述となっていた。また、実践性についての記述はなかった。自ら学ぶ力を育成するために、多くの生徒の「振り返りの質」を向上させる手だてを考えたい。

エ 振り返りシートによる実践

ライフコーディネート科3年生「商業」の振り返りを例示する。「次はこうしてみよう」と思うことと「そのために次の授業から実践したいこと」の記述で「ただ暗記するのではなく」「具体的な内容を理解して」「自主的に調べようようにしたい」と自ら学ぼうとする生徒の姿が見て取れる（資料7）。

3年生「数学C」の振り返りを例示

する。「次はこうしてみよう」と思うことと「そのために次の授業から実践したいこと」の記述で「次は解き方についても質問してみたい」「理解しながら解くようにしたい」と公式の質問から得た成功体験から自信をもって次の行動へ学びを進めている様子が見え（次ページ資料8）。

【資料7 商業科の実践】

1年生「保健体育」の振り返りを例示する。「次はこうしてみよう」ということと「そのために次の授業から実践したいこと」の記述で「ロブとヘアピンの使い分けをうまくしたい」「相手の体勢を崩すロブとヘアピンを上手く使えるようにしたい」と振り返りから次の「見通し」を自ら見つけ、次の目標を考えることができている（資料9）。

【資料8 数学科の実践】

振り返りシート

単元目標：複素数を使った公式を理解しながら使えるようにする。

『次はこうしてみよう』と思うことと『そのために次の授業から実践したいこと』

→ 今回のことで公式について質問をし、理解を深めることができたので、次は解き方についても質問を試みたいと思います。

(次の授業から)

→ なぜこのような解き方をするのか理解しながら解くようにしたい。

【資料9 保健体育科の実践】

振り返りシート

単元目標：相手のコートの空間を狙って打つ、ロングサーブ、ハイクリアの習得

『次はこうしてみよう』と思うことと『そのために次の授業から実践したいこと』

→ 次はロブとヘアピンの使い分けをうまくしたいなと思いました。バドミントン部の人はロブやヘアピンをうまく使っていて、相手の体勢を崩れたときにスマッシュを打たれて点を取られていた。

(次の授業から)

→ 相手の体勢を崩すロブとヘアピンを上手く使えるようにしたい。

3 実践の成果と課題

成果として、日々行っている教育活動にAARサイクルの視点を加えることでサイクルを回すための手だてとなり、その手だてによる振り返りを行うことで、生徒が自身の成長に気付き、自信をもつきっかけとなり得ることが分かった。また、振り返りから生徒自身が目標を立てることで、より自分事として「見通し」をもち、日々の生活を送ることができると見て取れた。

次年度の課題として、前述した「振り返りの質」に加え、「振り返りシートの活用法」にも注目したい。文化祭において本校2年生は演劇を行うが、授業だけではなく行事においても同じ質問項目でAARサイクルが回せるのかについて、研究を進めたい。

4 おわりに

生徒の自ら学ぶ力の育成を推進するために、以下の2点を押さえることに着目した。

- ・全教員で生徒の強み弱みについて話し合い、「目指す生徒像」を設定し共有した上で、そのためにはどのような手だてが有効かを明確にする。
- ・AARサイクルの視点が有効であるため、振り返りなどすでに日々行っている教育活動をAARサイクルの視点で見直す。